

経営比較分析表（令和3年度決算）

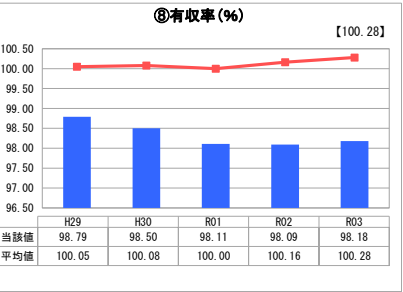
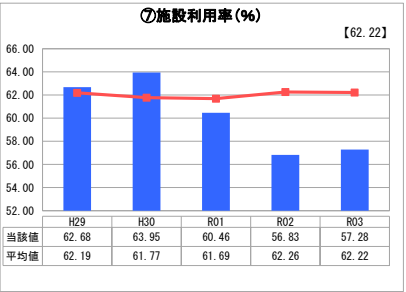
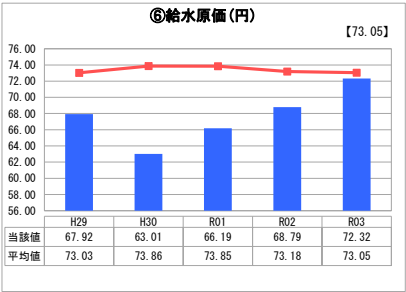
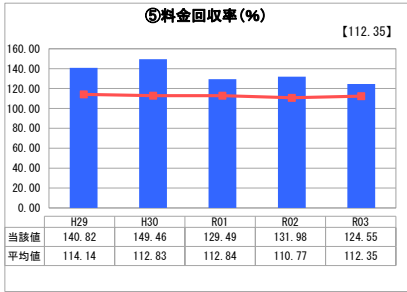
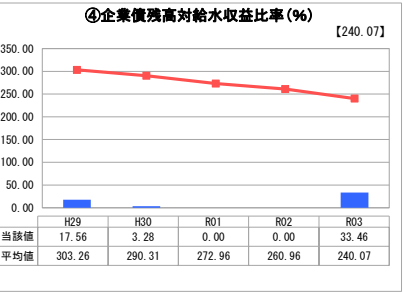
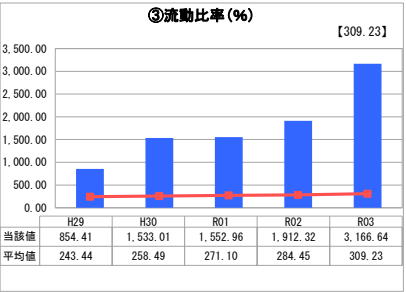
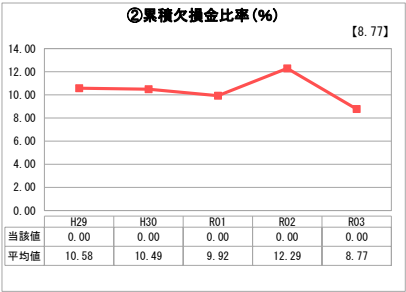
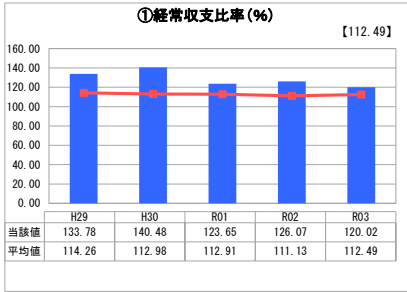
福島県 会津若松地方広域市町村圏整備組合

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	用水供給事業	B	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	96.76	93.50	0	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
143,047	232.85	614.33

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

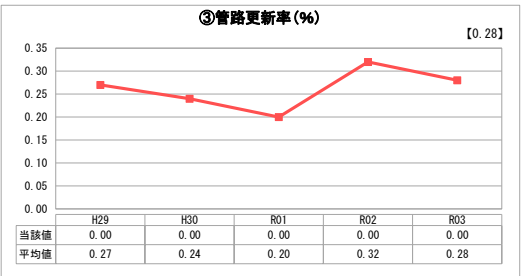
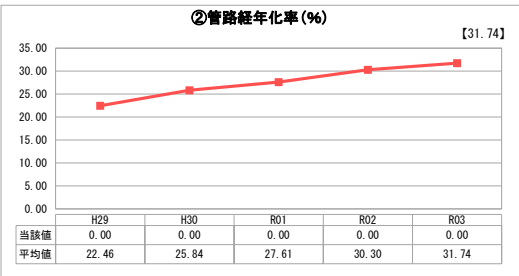
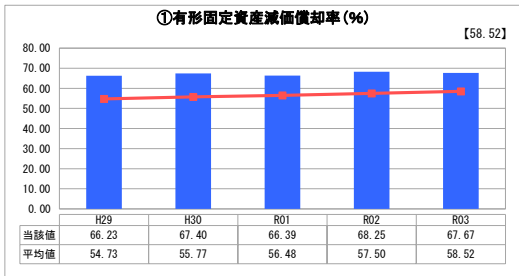
1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常利益は黒字で、経常収支比率は、100%を超えており良好といえる。
- ・流動比率は、100%を超え支払能力は十分といえる。
- ・施設利用率は、一時的な使用量増加のため、上昇したものの、全体的には、節水型機器の普及や人口減少等に伴い、減少傾向にある。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率は、全国平均を上回っており、施設の老朽化が進んでいる。
- ・管路については、経年率は上昇傾向にあるものの、まだ法定耐用年数に達していない状況にある。

2. 老朽化の状況



全体総括

- ・概ね、財務内容は健全性が確保されていると考えられる。
- ・施設更新及び耐震化については、長期財政計画（10ヶ年計画）において、長寿命化・施設更新計画及び施設耐震化計画を定め、順次対応しているところだ。
- ・更に将来を見据え、アセットマネジメントを活用し、適正な規模や時期を見極め、施設の更新等を進めていきます。